

2021年度（総合型選抜）AO選抜入学試験
政策科学部「政策科学セミナー方式」

【選考講評】

1. 実施状況

(1) 志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻等	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
政策科学科・政策科学専攻	37	24	15

(2) 本入学試験の目的

政策科学部では、解決が必要とされている政策課題に対して、実践レベルに踏み込み、よりよい社会を創造するための学びを展開しています。こうした学びにチャレンジする学生を求めていることから、入学時点において以下の学力、関心を有することを求めます。

- (1) 高等学校などの教育によって修得した基礎的な学力を有していること。
- (2) それらの知識に基づく問題解決のための思考や態度、能力習得に関心があること。
- (3) 広く社会的な課題の解決に向けた実践や構想に意欲があること。

これらのアドミッション・ポリシーに基づき、政策科学部の「政策科学セミナー方式」入学試験は、現代において解決が迫られている様々な政策課題に独自の関心を持ち、「政策実践力」と「政策構想力」を身につけるための基礎能力（理解力、表現力、論理性、独創性）に優れている人材を、広く全国から受け入れようとするものです。

2. 試験内容

(1) 第一次選考

政策科学部の「政策科学セミナー方式」の第一次選考は、書類選考および「政策科学セミナーⅠ」での講義に関するレポートを行いました。講義に関するレポートは、政策科学部教員が50分程度の講義を行い、20分程度の質問時間を経て、その後に講義内容に関する理解度や意見などを問うレポートを60分で作成してもらうものでした。

2021年度AO選抜のセミナーテーマは、「環境保全と環境政策」でした。講義に関するレポートでは、本講義に関わる3つの問題を出題しました。

(2) 第二次選考

第二次選考は10分程度の個人面接および「政策科学セミナーⅡ」としてグループ・ディスカッションを行いました。グループ・ディスカッションは「環境保全と環境政策について考える」をテーマとして、政策科学部教員の司会により第二次選考受験者からなるグループで60分程度行いました。

3. 出題の意図

(1) 第一次選考

書類選考では、政策科学部に志望する理由や入学後に学びたいことなどを記してもらったエントリーシートをもとに、学部への適性を見ることを目的としました。講義に関するレポートでは、講義内容への理解度、講義を踏まえた上で要因や問題点を論理的に説明できているかどうか、自分の考えを文章表現できているかどうか、英語力や統計資料を読み解く数的処理能力などを見ることを意図しました。

(2) 第二次選考

個人面接はエントリーシートをもとにして行い、志望動機や政策科学部に対する興味・適性を応答により評価することを意図しました。

グループ・ディスカッションでは第一次選考で説明された内容に基づいて論点の問題状況について整理・理解した上で自分の意見を論理的に説明できるか、論点の解決策・提案を論理的・客観的に表現できているか、多様な他人の意見を理解してそれらを踏まえながら議論を建設的に進めることができるかどうかを問うことを意図しました。

4. 評価のポイント

(1) 第一次選考

書類選考ではエントリーシートから大学入学後の学習意欲や関心等を測り、政策科学部への適性を評価しました。講義に関するレポートでは設問の解答状況により、講義内容に対する理解度、論理性、文章表現力、数的処理能力等を評価しました。

(2) 第二次選考

個人面接では政策科学部への志望動機や学びの関心度、興味などについて、応答から評価しました。グループ・ディスカッションでは第一次選考での講義資料や内容を踏まえた内容の発言ができているか、論理的・客観的な発言ができているか、独り善がりではなく他の人の発言内容も踏まえつつ発言ができているか、議論の流れや目的を意識した発言ができているかなどを評価しました。

5. 解答状況

(1) 第一次選考

エントリーシートには、多くの志願者は大学入学後に何をどのように学びたいのか、それらを将来にどのように活かしたいのかについて、政策科学部の教学内容と結びつけて記すことができていました。

講義に関するレポートは3つの問があり、問1は講義で説明された内容に関する理解度を問うもの、問2は生物多様性についての保全策と問題点の説明を求めるもの、問3は表を読み解いたり計算を行ったりする数的処理とそこから分かることについて要因の説明を記述するものでした。合格者はおおむね講義内容の理解度が良好で、論理的な文章表現、データの背景にある要因の説明の記述をかなりの確に行っていました。

(2) 第二次選考

個人面接は政策科学部への志望動機や入学後に学びたいことなどについて具体的かつ論理的に表現できているか、応答が的確になされたかどうかなどにより、評価にやや差が生じました。

グループ・ディスカッションは受験生を3つのグループに分けて行いました。受験生の多くは、所定時間内で自分の意見を積極的に表明できていました。

6. 次年度の受験生へのアドバイス

人の話や資料などを先入観にとらわれずに客観的かつ正確に理解する力を養ってください。また、そうして理解したことを、話者や筆者の主張や意図を踏まえつつ、多角的視野から批判的に検討した上で、自分の考えを論理的かつ建設的に積み上げていく力を身につけ、それを適切に表現できるよう、日頃から心がけてください。

また、グループの他の人の意見をよく聞いて、それに対して適切かつ説得力をもって自分の意見を述べる力と、議論を展開させることを通じて、新たな解決策や見方を見出す力を養ってください。

そして、政策科学は総合的で文理融合的な学問であり、社会科学だけでなく自然科学の

分野にもまたがっています。政策科学の学びの特徴を理解して意欲を持ち、広範な知識を習得することも心がけてください。

以上